RNAClean XP
クイックマニュアル

本クイックマニュアルは簡易版です。使用前には、正式なマニュアル（英文）を必ずご一読ください。

Introduction

ベックマン・コールターの Solid Phase Reversible Immobilization (SPRI) 磁性ビーズ技術により、RNA/cDNA のハイスループット精製を可能にします。ビーズが RNA/cDNA に結合し、過剰なオリゴヌクレオチド、ヌクレオチド単量体、塩、酵素を簡単な洗浄で除去します。

適用アプリケーション

PCR、RT-PCR、マイクロアレイ/マイクロアレイのプローブ、RNase プロテクションアッセイ、RNAi 実験のためのトランスフェクション、cDNA 合成とラベリング

保存方法

4℃で保存してください。

使用前に十分に撹拌し、磁性ビーズを完全に再懸濁して下さい。

本マニュアルの対応製品

A63987 RNAClean XP 40 mL

A66514 RNAClean XP 450 mL

Material Supplied by the User

反応プレート

300 µL 96 ウェル丸底プレート

例：Corning, 3795

96 ウェル PCR プレート

例：Thermo Fisher Scientific, AB-0800

磁気プレート

Beckman Coulter SPRIPlate 96R Ring Super Magnet Plate, A32782

試薬

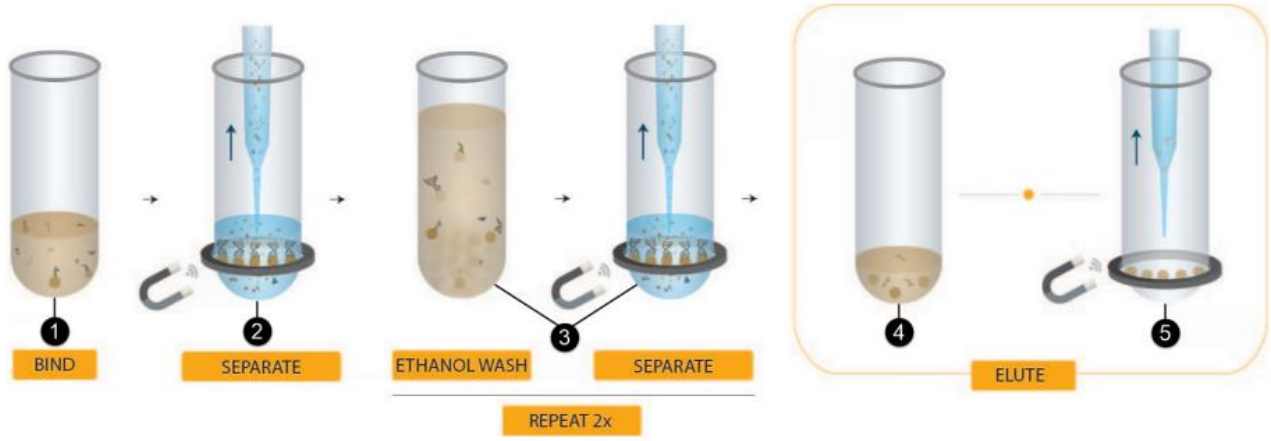
70%エタノール（ヌクレアーゼフリー水で用時調製）

ヌクレアーゼフリー水

RNase フリー条件での実験について

RNAClean XP は RNase フリーにて製造されており、試薬製品にヌクレアーゼの混入がないことを確認しています。本試薬のご使用時は、サンプルへの RNase 混入を防ぐ対策を十分に取った上で、実験を行うことをお勧めします。

Quick Reference (96 ウェル反応プレート、サンプル液量 1~100 µL の場合)



1. サンプル 1 µL あたり、RNAClean XP 1.8 µL を加える。

2. ピペッティング 10 回またはボルテックス 30 秒間で混合後に 3~5 分間静置し、DNA 断片を磁性ビーズに結合。

3. 磁気プレート上で 5~10 分間静置し、上清を除去。

4. 磁気プレート上で 70%エタノール 200 µL 以上を加え、30 秒静置し、上清を除去。
   この 70%エタノール洗浄を合計 3 回実施後、10 分間風乾。

5. 反応プレートを磁気プレートから下ろし、RNase フリー水 40 µL を入れ、ピペッティング 10 回またはボルテックス 30 秒間で溶出。

6. 磁気プレート上で静置し、精製サンプルを含む上清を新しいプレートに移す。

Purification Procedure

96 ウェル反応プレート、サンプル液量 1~100 μL での実験手順

1. 反応プレートのウェル容量がサンプル液量の 2.8 倍を超えている場合、より大きなウェル容量の反応プレートに移しかえる必要があります。反応液量が 100 μL を超えている場合には、正式なマニュアル (英語) をご参照下さい。

2. RNAClean XP のボトルを撹拌し、磁性ビーズを完全に再懸濁します。サンプル液量の 1.8 倍容の RNAClean XP を加えます。

サンプル液量 (μL)	RNAClean XP 添加容量 (μL)
20	36
50	90
100	180

3. RNA/cDNA をビーズへ結合させるため、ピペッティング 10 回またはボルテックス 30 秒間によりサンプルと試薬を混合します。その後、回収率を高めるために室温で 3~5 分間静置します。サンプル液量が 50 μL 以上の場合には 5 分間、一本鎖 DNA を精製する場合には 20 分間静置することにより回収率を高めることができます。

4. 反応プレートを磁気プレート上で 5~10 分間静置し、溶液中のビーズを分離します。溶液が透明になっていることを確認してください。

5. 反応プレートを磁気プレート上に置いたままで、上清を除去します。

6. 反応プレートを磁気プレート上に置いたままで 70%エタノール 200 μL を加え、室温で 30 秒間静置します。その後、エタノールを除去します。
   この 70%エタノール洗浄を合計 3 回行います。ウェル底のエタノールは完全に除去します。

7. 反応プレートを 10 分間風乾します。

磁性ビーズの過剰な乾燥は避けてください。溶出収量が非常に低くなる場合があります。サンプルを直ぐに使用しない場合には、この状態で-4℃または-20℃にて冷凍保存することが可能です。

8. 反応プレートを磁気プレートから下ろし RNase フリー水 40 µL を入れ、ピペッティング 10 回またはボルテックス 30 秒間によりサンプルを溶出します。

9. 反応プレートを磁気プレート上で静置し、精製サンプルを含む上清を新しいプレートに移します。

210217_QMJ-RNACleanXP

ベックマン・コールター株式会社

本　社：〒135-0063 東京都江東区有明3-5-7 TOC有明ウエストタワー

お客様専用 0120-566-730　☎ 03-6745-4704　FAX 03-5530-2460
e-mail bckkcas@beckman.com　URL http://www.beckmancoulter.co.jp